

「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」

第6回フォローアップ調査結果

○調査の概要

調査対象:国立大学86大学(回答率100%)

調査時点:設問1～3…平成30年11月1日現在(原則)、設問4～6…平成30年度

調査方法:国立大学へのアンケート(調査票)

調査期間:平成30年10月31日～平成30年12月7日

(参考 総学生数)

(人数)

	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
	5月1日現在	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在	
学 部	450,266	448,183	433,700	454,076	452,307	452,529	451,184	
大学院	156,180	151,424	144,902	154,898	154,526	155,673	155,354	
合 計	606,446	599,607	578,602	608,974	606,833	608,202	606,538	

	平成28年		平成29年		平成30年	
	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在	5月1日現在	11月1日現在
学 部	451,870	450,847	448,997	448,834	447,581	447,061
大学院	157,442	157,972	158,512	159,517	159,319	159,909
合 計	609,312	608,819	607,509	608,351	606,900	606,970

(国立大学協会調査による)

1. 外国人留学生

目標 **2020年(平成32年)までに**受入れ留学生(外国人留学生)割合を学部・大学院合わせて**10%**にすることを旨す。

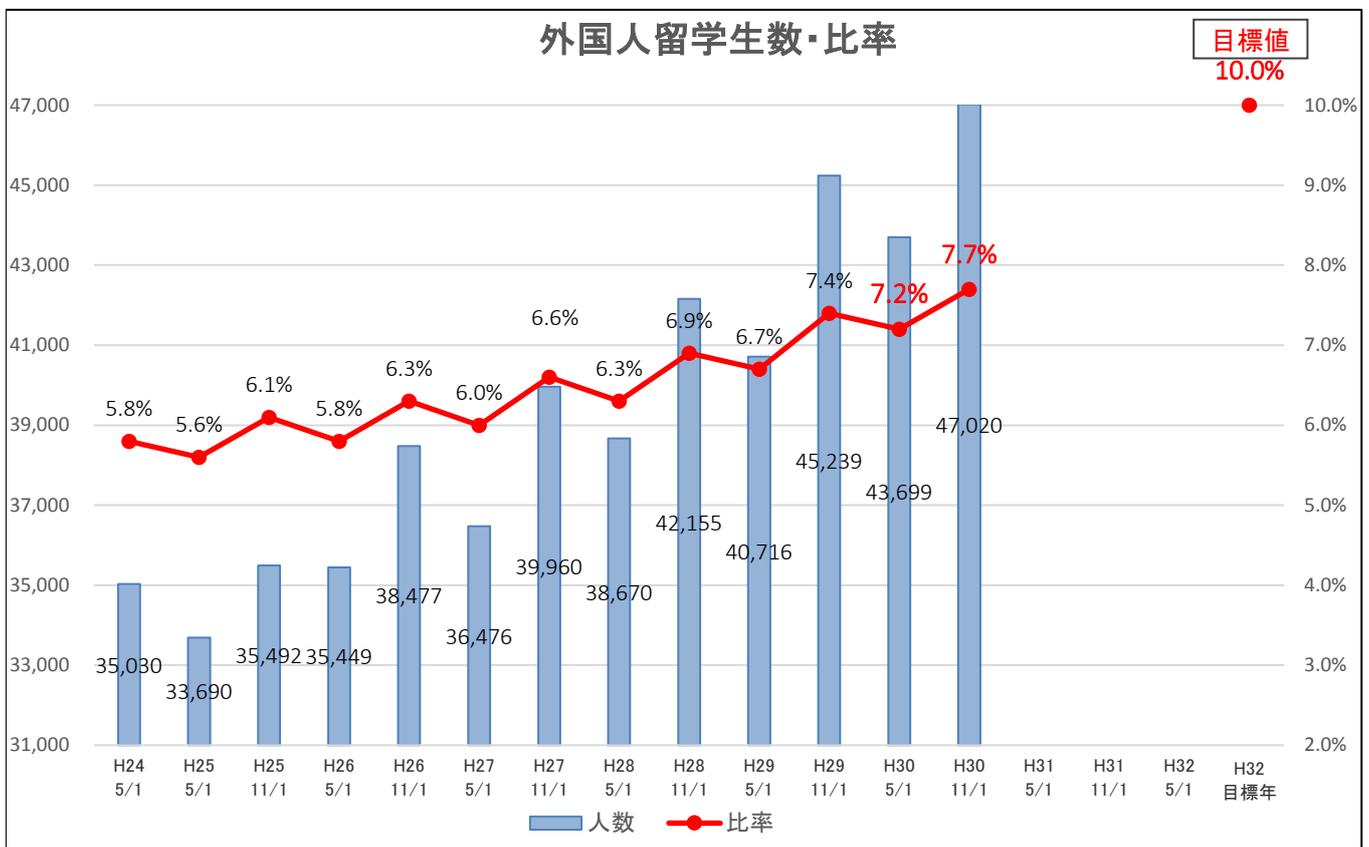
外国人留学生数

	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H25.11.1 現在	H26.5.1 現在	H26.11.1 現在	H27.5.1 現在	H27.11.1 現在
学部	9,881 人 2.2 %	9,525 人 2.1 %	10,302 人 2.4 %	10,941 人 2.4 %	12,180 人 2.7 %	11,020 人 2.4 %	12,213 人 2.7 %
大学院	25,149 人 16.1 %	24,165 人 16.0 %	25,190 人 17.4 %	24,508 人 15.8 %	26,297 人 17.0 %	25,456 人 16.4 %	27,747 人 17.9 %
合計	35,030 人 5.8 %	33,690 人 5.6 %	35,492 人 6.1 %	35,449 人 5.8 %	38,477 人 6.3 %	36,476 人 6.0 %	39,960 人 6.6 %

	H28.5.1 現在	H28.11.1 現在	H29.5.1 現在	H29.11.1 現在	H30.5.1 現在	H30.11.1 現在	H29.11.1と比較
学部	11,514 人 2.5 %	12,543 人 2.8 %	11,485 人 2.6 %	13,045 人 2.9 %	12,524 人 2.8 %	13,766 人 3.1 %	721 人増 0.2 %増
大学院	27,156 人 17.2 %	29,612 人 18.7 %	29,231 人 18.4 %	32,194 人 20.2 %	31,175 人 19.6 %	33,254 人 20.8 %	1,060 人増 0.6 %増
合計	38,670 人 6.3 %	42,155 人 6.9 %	40,716 人 6.7 %	45,239 人 7.4 %	43,699 人 7.2 %	47,020 人 7.7 %	1,781 人増 0.3 %増

※下段＝外国人留学生数／同年同月の総学生数×100(%)

※目標値を定めている大学 **59** / 86大学



2. 日本人学生の海外留学

目標 **2020年(平成32年)までに派遣留学生(日本人の海外留学生)割合を学部・大学院合わせて5%にすることを旨とする。**

日本人学生の海外留学者数

		H23年度実績	H24年度実績	H25年度実績	H26年度実績	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績
長期 (1年以上)	学部	506人	457人	302人	506人	816人	624人	567人
	大学院	568人	479人	215人	206人	210人	213人	207人
	小計	1,074人	936人	517人	712人	1,026人	837人	774人
短期 (1年未満)	学部	7,844人	9,935人	11,223人	13,626人	14,651人	18,229人	19,666人
	大学院	4,201人	6,432人	5,363人	6,077人	6,752人	7,589人	9,317人
	小計	12,045人	16,367人	16,586人	19,703人	21,403人	25,818人	28,983人
合計	学部	8,350人	10,392人	11,525人	14,132人	15,467人	18,853人	20,233人
		1.9%	2.3%	2.6%	3.2%	3.5%	4.3%	4.7%
	大学院	4,769人	6,911人	5,578人	6,283人	6,962人	7,802人	9,524人
		3.0%	4.4%	4.4%	4.8%	5.3%	6.0%	7.4%
	合計	13,119人	17,303人	17,103人	20,415人	22,429人	26,655人	29,757人
		2.2%	2.9%	3.0%	3.6%	3.9%	4.7%	5.3%

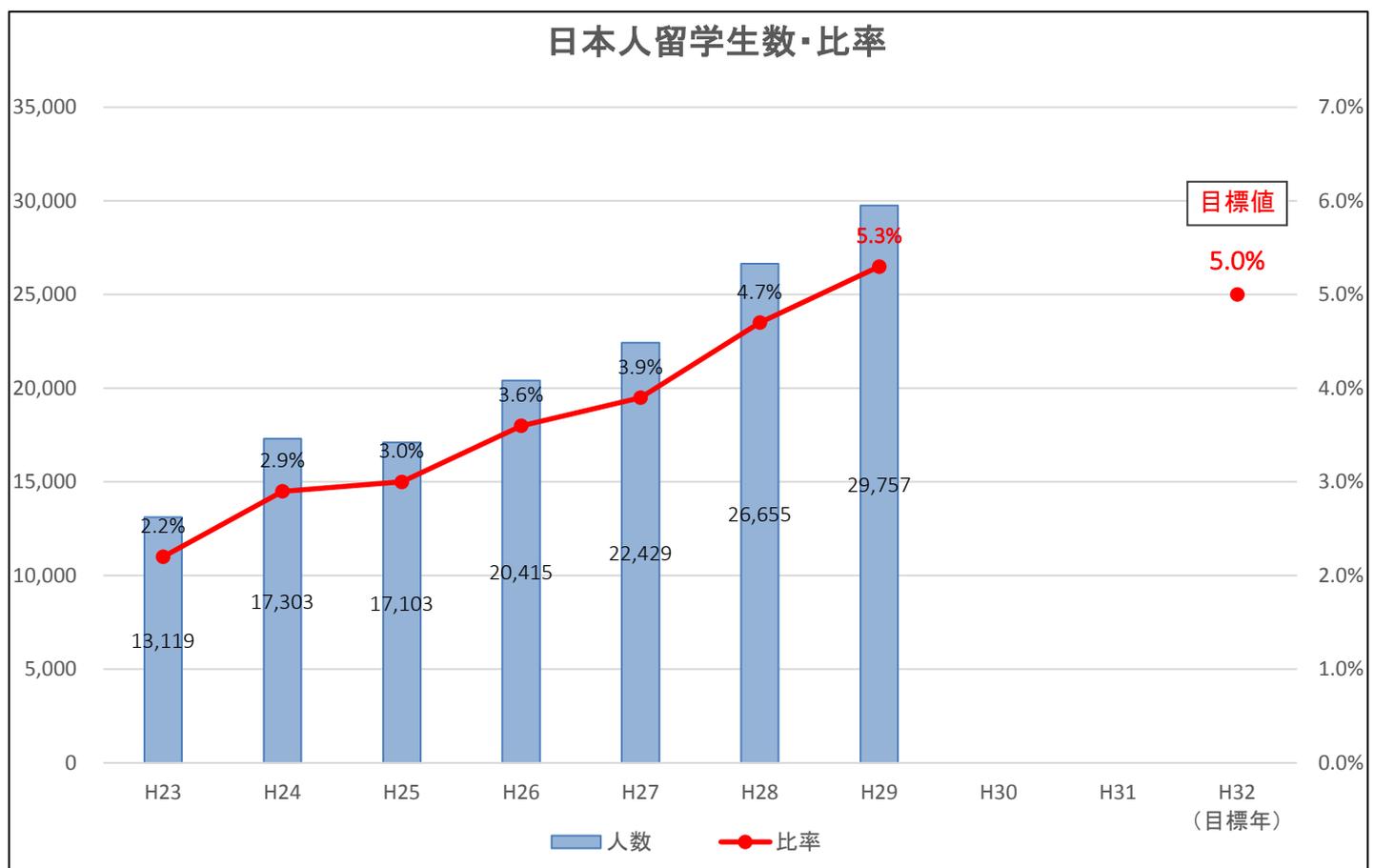
※[合計]下段について

平成23～24年度 海外留学生[日本人に限らない]／同年5月1日時点の総学生数×100(%)

平成25年度以降 海外留学生[日本人に限る]／(同年5月1日時点の総学生数－外国人留學生数)×100(%)

※目標値を定めている大学

60 / 86大学



3. 外国人教員

目標 **2020年までに外国人教員比率を倍増**させることを目指す。

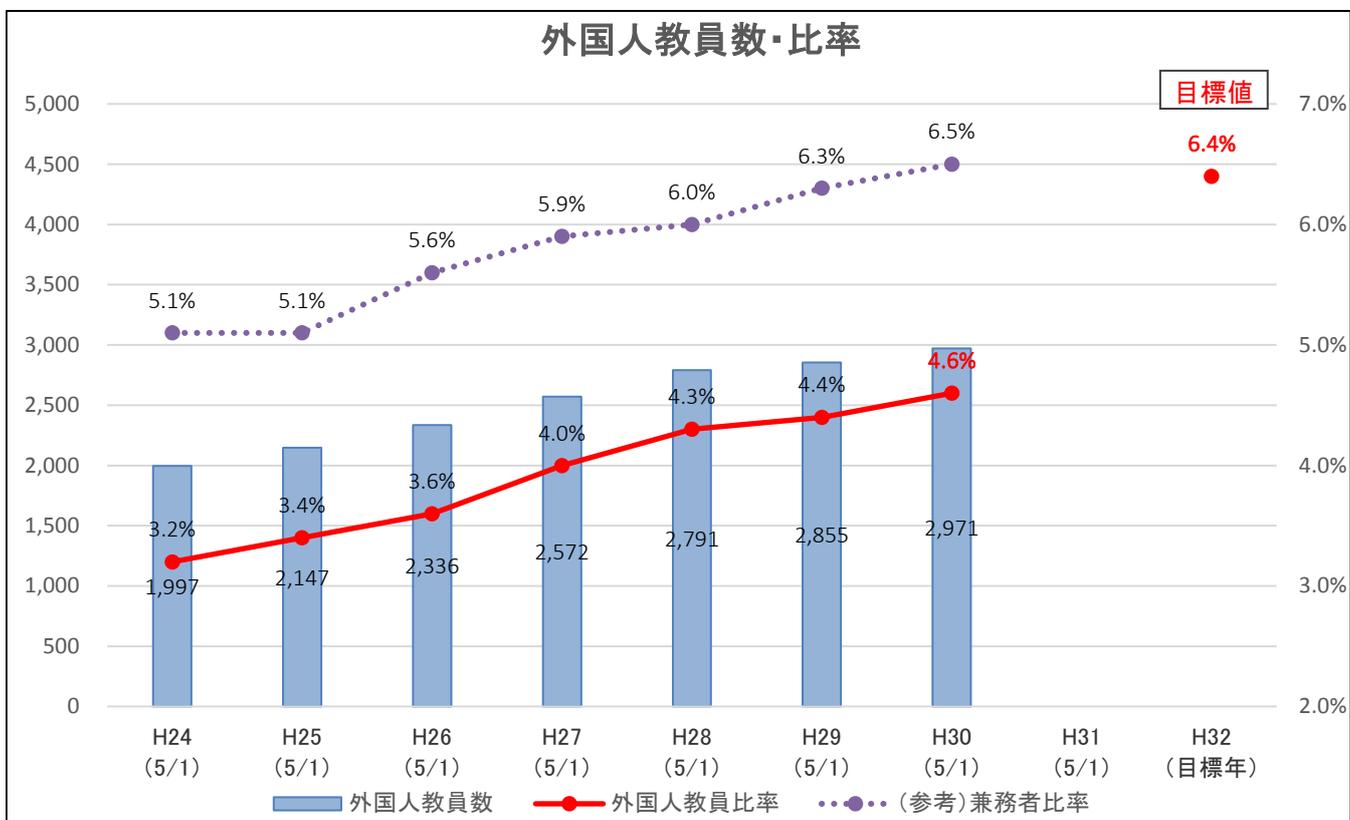
外国人教員数

	本務者						
	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H26.5.1 現在	H27.5.1 現在	H28.5.1 現在	H29.5.1 現在	H30.5.1 現在
外国人教員数	1,997	2,147	2,336	2,572	2,791	2,855	2,971
教員数	62,825	63,218	64,114	64,515	64,318	64,280	64,433
外国人教員比率	3.2%	3.4%	3.6%	4.0%	4.3%	4.4%	4.6%

	(参考)兼務者						
	H24.5.1 現在	H25.5.1 現在	H26.5.1 現在	H27.5.1 現在	H28.5.1 現在	H29.5.1 現在	H30.5.1 現在
外国人教員数	1,981	2,023	2,079	2,313	2,300	2,333	2,476
教員数	38,697	39,310	37,024	39,467	38,632	37,188	37,828
外国人教員比率	5.1%	5.1%	5.6%	5.9%	6.0%	6.3%	6.5%

※目標値を定めている大学

33 / 86大学



4. 英語での授業

目標 **2020年までに**英語での授業実施科目数を学部、大学院とも**倍増**させることを目指す。

(1) 英語での授業

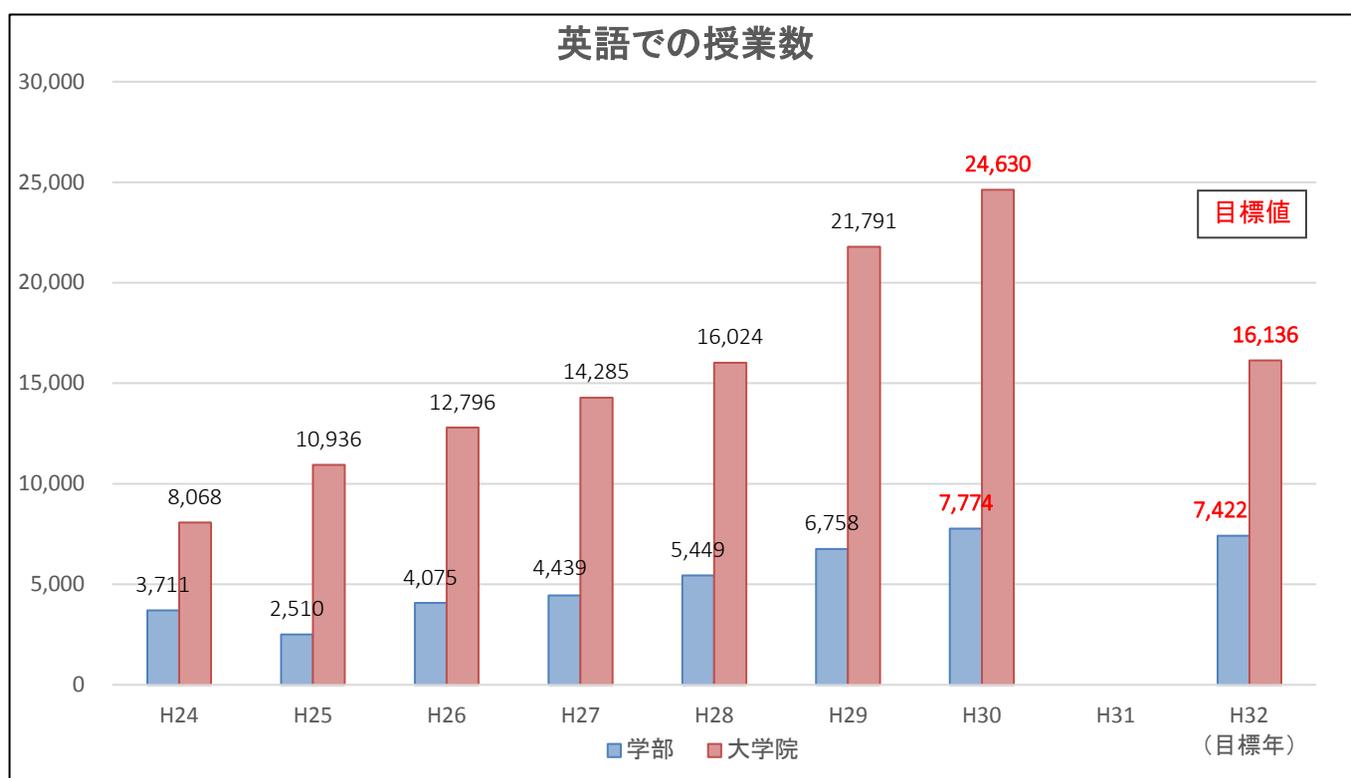
※平成24年度の授業科目数には、語学としての授業科目を一部含む

①学部

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
3,711 授業科目	2,510 授業科目	4,075 授業科目	4,439 授業科目	5,449 授業科目	6,758 授業科目	7,774 授業科目

②大学院

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
8,068 授業科目	10,936 授業科目	12,796 授業科目	14,285 授業科目	16,024 授業科目	21,791 授業科目	24,630 授業科目



(2) 大学の取組み状況

英語での授業を実施している大学数

学部 67 / 82大学 (81.7 %) (前回比: +1 大学 1.2 % 増)
 大学院 73 / 86大学 (84.9 %) (前回比: +1 大学 1.2 % 増)

数値目標の設定

目標 **2020年までに**国際化に関連した数値目標を設定している大学数を**倍増**させることを目指す。

数値目標を設定している大学数

①外国人留学生数に関する数値目標

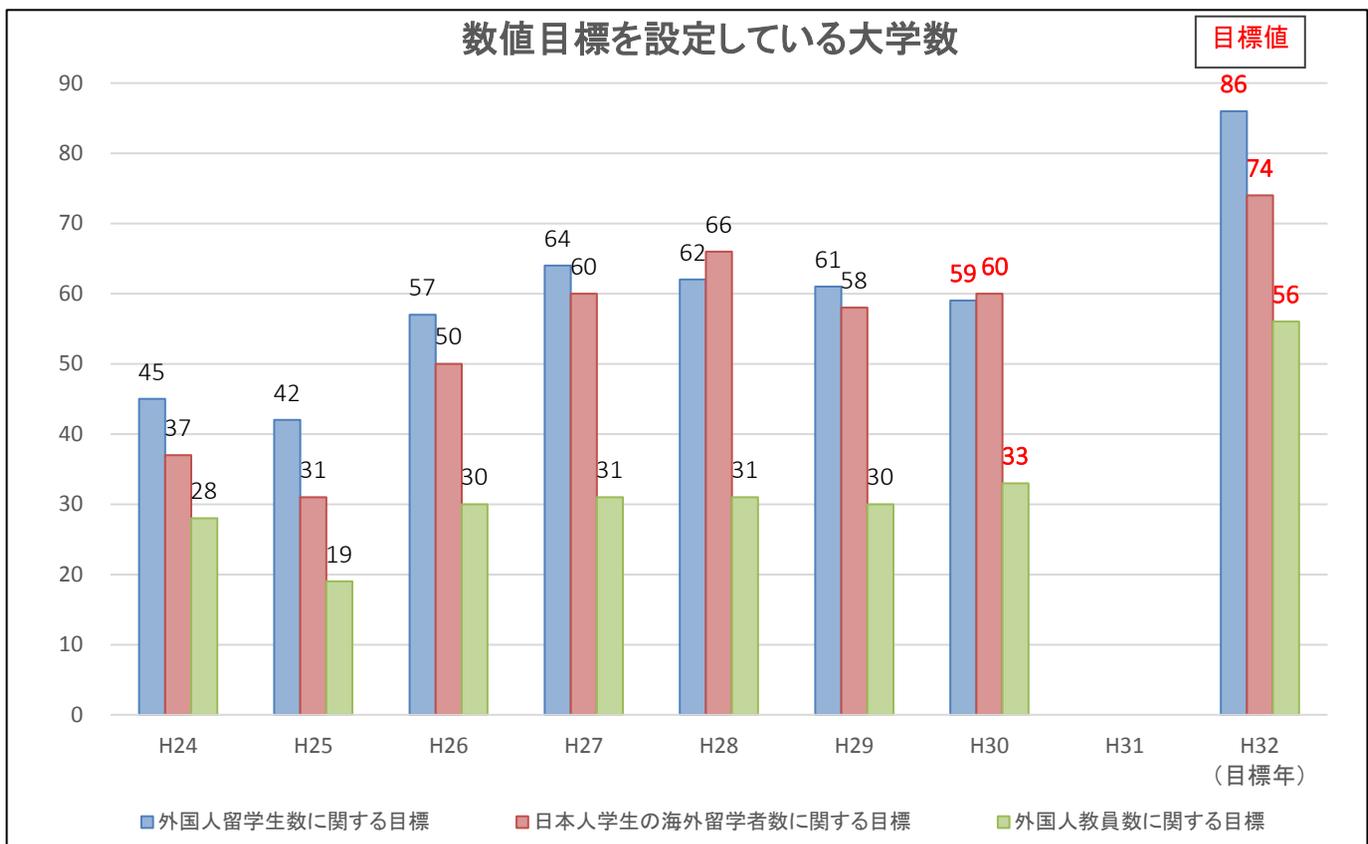
H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
45 大学	42 大学	57 大学	64 大学	62 大学	61 大学	59 大学

②日本人学生の海外留学者数に関する数値目標

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
37 大学	31 大学	50 大学	60 大学	66 大学	58 大学	60 大学

③外国人教員数に関する数値目標

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
28 大学	19 大学	30 大学	31 大学	31 大学	30 大学	33 大学



5. その他

(1) 英語による授業のみで学位が取得できるコース等

① 留学生のみに限定されているコース等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学部 (全82大学)	5 大学	6.1%	5 大学	6.1%	0 大学	0.0% →
大学院 (全86大学)	36 大学	41.9%	35 大学	40.7%	+ 1 大学	1.2% ↑

② 留学生のみに限定されていないコース等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学部 (全82大学)	16 大学	19.5%	13 大学	15.9%	+ 3 大学	3.7% ↑
大学院 (全86大学)	54 大学	62.8%	51 大学	59.3%	+ 3 大学	3.5% ↑

(2) 外国人学生向けの特別なプログラム等の設置

① 1ヶ月未満のプログラム等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学部 (全82大学)	41 大学	50.0%	45 大学	54.9%	- 4 大学	-4.9% ↓
大学院 (全86大学)	37 大学	43.0%	36 大学	41.9%	+ 1 大学	1.2% ↑

(今回調査) 主な使用言語…学部：日本語23大学、英語34大学 / 大学院：日本語16大学、英語34大学

(前回調査) 主な使用言語…学部：日本語26大学、英語38大学 / 大学院：日本語16大学、英語33大学

② 1ヶ月以上6ヶ月未満のプログラム等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学部 (全82大学)	42 大学	51.2%	42 大学	51.2%	0 大学	0.0% →
大学院 (全86大学)	34 大学	39.5%	34 大学	39.5%	0 大学	0.0% →

(今回調査) 主な使用言語…学部：日本語30大学、英語31大学 / 大学院：日本語23大学、英語31大学

(前回調査) 主な使用言語…学部：日本語30大学、英語34大学 / 大学院：日本語21大学、英語31大学

③ 6ヶ月以上のプログラム等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学部 (全82大学)	47 大学	57.3%	52 大学	63.4%	- 5 大学	-6.1% ↓
大学院 (全86大学)	46 大学	53.5%	45 大学	52.3%	+ 1 大学	1.2% ↑

(今回調査) 主な使用言語…学部：日本語40大学、英語32大学 / 大学院：日本語38大学、英語38大学

(前回調査) 主な使用言語…学部：日本語43大学、英語34大学 / 大学院：日本語36大学、英語37大学

(参考) 世界に対して広く募集している短期留学プログラム等の設置

	今回調査		前回調査		前回比	
	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合	設置大学数	設置割合
学部 (全82大学)	19 大学	23.2%	20 大学	24.4%	- 1 大学	-1.2% ↓
大学院 (全86大学)	14 大学	16.3%	15 大学	17.4%	- 1 大学	-1.2% ↓

募集の対象を協定校や交流実績のある大学に絞ったり、教職員の国際的なネットワークによる募集ではなく、例えばHP等で応募者を広く世界から募っているプログラム

(3) 4月以外の入学時期の導入

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	導入している	16 大学	19.5%	19 大学	23.2%	- 3 大学	-3.7% ↓
	導入する予定	0 大学	0.0%	3 大学	3.7%	- 3 大学	-3.7% ↓
	導入していない	66 大学	80.5%	60 大学	73.2%	+ 6 大学	7.3% ↑
大学院 (全86大学)	導入している	76 大学	88.4%	76 大学	88.4%	0 大学	0.0% →
	導入する予定	0 大学	0.0%	0 大学	0.0%	0 大学	0.0% →
	導入していない	10 大学	11.6%	10 大学	11.6%	0 大学	0.0% →

(4) ①4学期制の導入(一部で実施している場合を含む)

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	導入している	34 大学	41.5%	31 大学	37.8%	+ 3 大学	3.7% ↑
	導入する予定	3 大学	3.7%	4 大学	4.9%	- 1 大学	-1.2% ↓
	導入していない	45 大学	54.9%	47 大学	57.3%	- 2 大学	-2.4% ↓
大学院 (全86大学)	導入している	37 大学	43.0%	36 大学	41.9%	+ 1 大学	1.2% ↑
	導入する予定	1 大学	1.2%	2 大学	2.3%	- 1 大学	-1.2% ↓
	導入していない	48 大学	55.8%	48 大学	55.8%	0 大学	0.0% →

(4) ②柔軟な学事歴の導入(一部で実施している場合を含む)

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	導入している	17 大学	20.7%	16 大学	19.5%	+ 1 大学	1.2% ↑
	導入する予定	2 大学	2.4%	2 大学	2.4%	0 大学	0.0% →
	導入していない	63 大学	76.8%	64 大学	78.0%	- 1 大学	-1.2% ↓
大学院 (全86大学)	導入している	20 大学	23.3%	18 大学	20.9%	+ 2 大学	2.3% ↑
	導入する予定	1 大学	1.2%	1 大学	1.2%	0 大学	0.0% →
	導入していない	65 大学	75.6%	67 大学	77.9%	- 2 大学	-2.3% ↓

(5) ダブルディグリープログラムの実施(一部で実施している場合を含む)

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	実施している	10 大学	12.2%	10 大学	12.2%	0 大学	0.0% →
	実施する予定	1 大学	1.2%	2 大学	2.4%	- 1 大学	-1.2% ↓
	実施していない	71 大学	86.6%	70 大学	85.4%	+ 1 大学	1.2% ↑
大学院 (全86大学)	実施している	47 大学	54.7%	50 大学	58.1%	- 3 大学	-3.5% ↓
	実施する予定	9 大学	10.5%	4 大学	4.7%	+ 5 大学	5.8% ↑
	実施していない	30 大学	34.9%	32 大学	37.2%	- 2 大学	-2.3% ↓

(6) ジョイントディグリープログラムの実施(一部で実施している場合を含む)

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
学部 (全82大学)	実施している	0 大学	0.0%	0 大学	0.0%	0 大学	0.0% →
	実施する予定	2 大学	2.4%	3 大学	3.7%	- 1 大学	-1.2% ↓
	実施していない	80 大学	97.6%	79 大学	96.3%	+ 1 大学	1.2% ↑
大学院 (全86大学)	実施している	8 大学	9.3%	6 大学	7.0%	+ 2 大学	2.3% ↑
	実施する予定	9 大学	10.5%	13 大学	15.1%	- 4 大学	-4.7% ↓
	実施していない	69 大学	80.2%	67 大学	77.9%	+ 2 大学	2.3% ↑

(7) 国際バカロレア入試の導入

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大 学 (全86大学)	導入している	13 大学	15.1%	13 大学	15.1%	0 大学	0.0% →
	導入する予定	2 大学	2.3%	2 大学	2.3%	0 大学	0.0% →
	導入していない	71 大学	82.6%	71 大学	82.6%	0 大学	0.0% →

(8)―①留学生宿舎の整備【大学の所有宿舎】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大 学 (全86大学)	整備している	79 大学	91.9%	79 大学	91.9%	0 大学	0.0% →
	整備する予定	2 大学	2.3%	2 大学	2.3%	0 大学	0.0% →
	整備していない	5 大学	5.8%	5 大学	5.8%	0 大学	0.0% →

(今回調査)整備戸数=19,211 整備予定戸数=364

(前回調査)整備戸数=19,539 整備予定戸数=210

(8)―②留学生宿舎の整備【民間企業等との法人契約による借上げ】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大 学 (全86大学)	整備している	24 大学	27.9%	21 大学	24.4%	+ 3 大学	3.7% ↑
	整備する予定	2 大学	2.3%	2 大学	2.3%	0 大学	0.0% →
	整備していない	60 大学	69.8%	63 大学	73.3%	- 3 大学	-3.7% ↓

(今回調査)整備戸数=1,865 整備予定戸数=30

(前回調査)整備戸数=1,648 整備予定戸数=55

(8)―③留学生宿舎の整備【自治体等所有宿舎の大学への専用居室の割当て】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大 学 (全86大学)	整備している	16 大学	18.6%	16 大学	18.6%	0 大学	0.0% →
	整備する予定	2 大学	2.3%	0 大学	0.0%	+ 2 大学	2.4% ↑
	整備していない	68 大学	79.1%	70 大学	81.4%	- 2 大学	-2.4% ↓

(今回調査)整備戸数=328 整備予定個数=136

(前回調査)整備戸数=324 整備予定個数=0

(9)―①大学独自の奨学金制度の導入【外国人留学生向け奨学金制度】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	設置割合	大学数	設置割合	大学数	設置割合
大 学 (全86大学)	導入している	67 大学	77.9%	66 大学	76.7%	+ 1 大学	1.2% ↑
	導入する予定	0 大学	0.0%	2 大学	2.3%	- 2 大学	-2.4% ↓
	導入していない	19 大学	22.1%	18 大学	20.9%	+ 1 大学	1.2% ↑

(9)―②大学独自の奨学金制度の導入【日本人学生向け海外留学奨学金制度】

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大 学 (全86大学)	導入している	74 大学	86.0%	73 大学	84.9%	+ 1 大学	1.2% ↑
	導入する予定	1 大学	1.2%	2 大学	2.3%	- 1 大学	-1.2% ↓
	導入していない	11 大学	12.8%	11 大学	12.8%	0 大学	0.0% →

(10) 留学先大学で履修科目の単位認定の実施

		今回調査		前回調査		前回比	
		大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
大 学 (全86大学)	実施している	82 大学	95.3%	81 大学	94.2%	+ 1 大学	1.2% ↑
	実施する予定	0 大学	0.0%	0 大学	0.0%	0 大学	0.0% →
	実施していない	4 大学	4.7%	5 大学	5.8%	- 1 大学	-1.2% ↓

5 (11). 大学として支援している、留学生の在留管理に係る手続きについて(自由記述)

【入学時～卒業時(就職活動含む)における手続きについて、対応に苦慮していること】

(主なもの)

○ 入学前

- ・ 在留資格認定証明書の申請から発行までの時間の長期化
- ・ ビザの発行が間に合わない学生の来日の遅延に対する対応
- ・ 申請手続きに係る学生からの書類提出の遅延や書類不備への対応

○ 在学中

- ・ 長期帰国者、休学者及び在留期間更新者に対する在留管理
- ・ 在留期間更新手続きを行わない学生への対応
- ・ 学生の資格外活動(アルバイト等)の状況把握

○ 卒業、修了後

- ・ 卒業、修了後に留学生が変更すべき在留資格への変更手続きの内容を理解させること
- ・ 特定活動への変更に係る推薦状発行の基準及び卒業後の留学生が在留することによって生じる、大学が負うべき責務の範囲が不明確であること
- ・ 卒業、修了等で帰国する学生への指導と対応

【国等に要望したいこと】

(主なもの)

- ・ 在留資格認定証明書申請に係る手続きの簡素化(申請書様式の改善、電子媒体での提出等)
- ・ 入国管理局における審査の迅速化
- ・ 入国管理局における体制の強化(法人専用窓口の設置、多言語への対応 等)
- ・ 入国管理局から所属機関への各種情報発信の強化及び在留期間更新者に係る情報提供システムの構築

6. 自由記述(教育の国際化に関する事柄)

(主なもの)

【対応に苦慮していること】

○ 留学生の増加に関すること

- ・ 留学生宿舍の確保(特に、短期受入れの留学生への宿舍の確保)
- ・ 留学生への奨学金等の経済的支援の拡大と制度の周知
- ・ 留学生の日本語能力及び基礎学力を向上させるための体制
- ・ 他国の教育制度等に関する情報の不足
- ・ 宗教(ハラールフード等)に係る対応
- ・ 事故・事件発生への対応

○ 日本人学生の海外留学に関すること

- ・ 奨学金等の経済的支援の拡大
- ・ 海外留学に係る危機管理に関する指導や、事前の備え
- ・ 日本人学生の外国語能力の向上

○ 講義及びプログラムについて

- ・ 英語開講科目の開発
- ・ 国別、大学別で各種プログラムが少人数で実施されることに伴う、入試、教育の複雑化
- ・ 双方向授業実施のための環境整備と支援
- ・ 日英別の授業実施による教員への負担
- ・ 他国との単位制度の相違によって生じる単位互換や単位認定の困難

○ 国際化に対応する教職員の不足及び教職員の英語能力向上

○ 他大学との連携による国際的な活動を継続的に実施するための予算の確保

○ 海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)に係る事務手続きの複雑化

【他大学との情報交換を行いたいこと】

○ 安全管理に関する危機管理体制や危機発生時における対処方法の具体的取組事例

○ 外国人留学生の受入と日本人学生の海外留学の拡大に関する取り組みの成功事例

○ 国際広報、ブランディングを高める国内外での活動、オールジャパンでのプレゼンスを高める方法や連携の仕方

○ 海外事務所・拠点における運営方法

○ 留学生に対する経済支援、生活支援

○ 留学生宿舍の運営

○ 単位互換制度の運用、英語化された授業科目の質保証

○ ダブルディグリーやジョイントディグリープログラム等の構築(学位、法務、カリキュラム、国際通用性の担保等)

○ 国際化に対応する人材の育成と確保

【国等に要望したいこと】

- 文部科学省の大学の国際化に関する各種事業(例:スーパーグローバル大学創成支援事業、大学の世界展開力強化事業)の評価における、事業の趣旨に合った適切かつ必要最低限な評価項目と評価指標の策定及びその実施
- 大学の国際化とグローバル人材育成を推進するための予算確保
 - 留学生宿舍を整備するための財政的支援
 - 日本人学生の海外留学と外国人留学生受入の拡大のための経済的支援の拡充
 - 留学生受入れの際の指標となる各種情報(各国の教育制度、出身大学・高等教育機関のランキング等)について、国主体での収集・分析及び各大学への共有
 - 留学生の定員枠の拡大、定員外とするための措置
 - EU一般データ保護規則(GDPR)に対する適切な指針作成と、大学への指導助言
 - 国費留学生大学推薦募集要項の英語版の作成
 - 大学の国際化に関わる関係者が意見交換できるような組織(機構)の設置
 - インターンシップ(海外・国内)、就職支援の充実